

熊本城復旧事業 及び 公開状況について

市—9

1 熊本城復旧基本計画改定（2023年3月）

計 画 期 間

35年（～2052年度）

計画期間を当初の20年から15年延ばして
2052年度までと設定し直した。

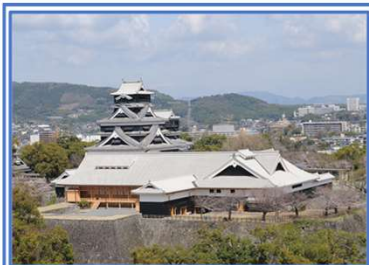
復旧を進めていく中で、復旧の各工程に要する時間や事業量について、当初予想できなかった課題

計画15年目（2032年度）

宇土櫓、本丸御殿の復旧完了



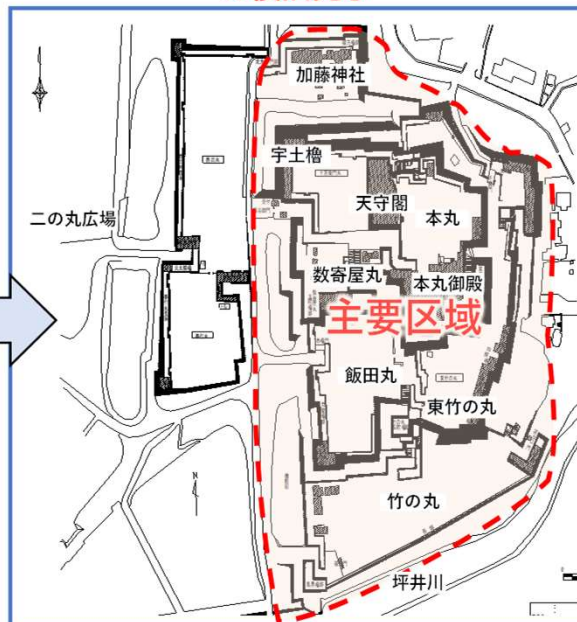
宇土櫓



本丸御殿

計画25年目（2042年度）

全ての重要文化財建造物及び主要区域
の復旧完了



計画26年目（2043年度）

～35年目（2052年度）

見学通路撤去・主要区域以外の工事
と新たな整備計画検討の並走

熊本城主要区域の復旧完了

特別見学通路の撤去
主要区域以外の
工事の実施

新たな整備計画の検討

新たな整備計画の開始

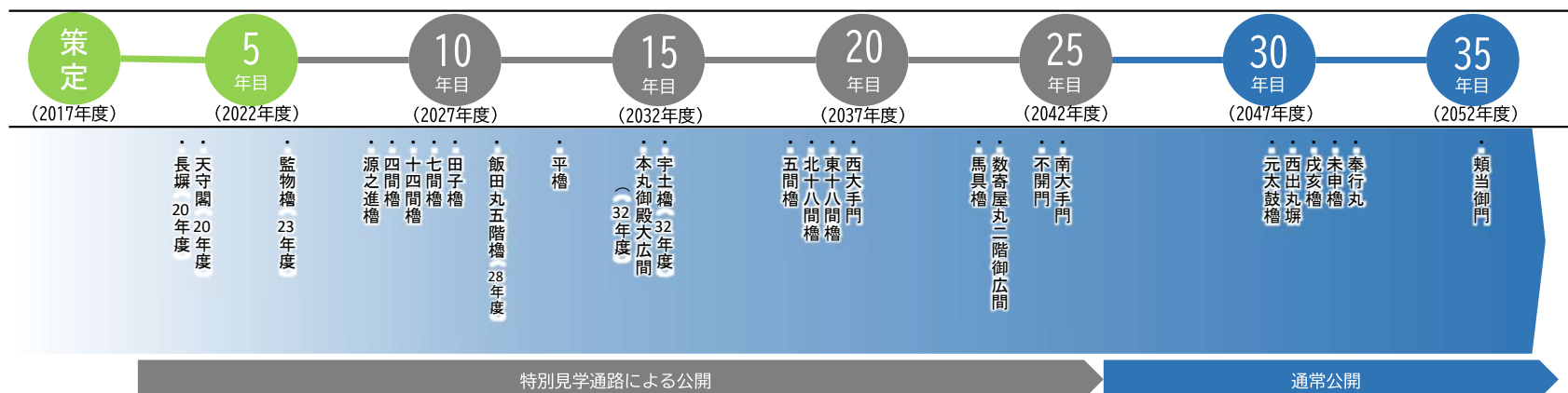
主 要 施 策

- ✓石垣・建造物の計画的復旧
- ✓復旧過程の公開等を踏まえた段階的復旧
- ✓復旧過程の文化・観光資源としての活用
- ✓耐震化等安全対策に係る最新技術・現代工法の検討
- ✓熊本城調査研究の推進
- ✓将来にわたる継続的な復旧を支える人づくり
- ✓確実な復旧財源の確保

熊本城復旧事業 及び 公開状況について

復旧工程

<主な建造物の復旧計画>



熊本城復旧事業 及び 公開状況について

2 熊本城の復旧状況

復 旧 完 了

【長堀】（重要文化財建造物）2021年1月復旧完了

【天守閣】2021年3月復旧完了

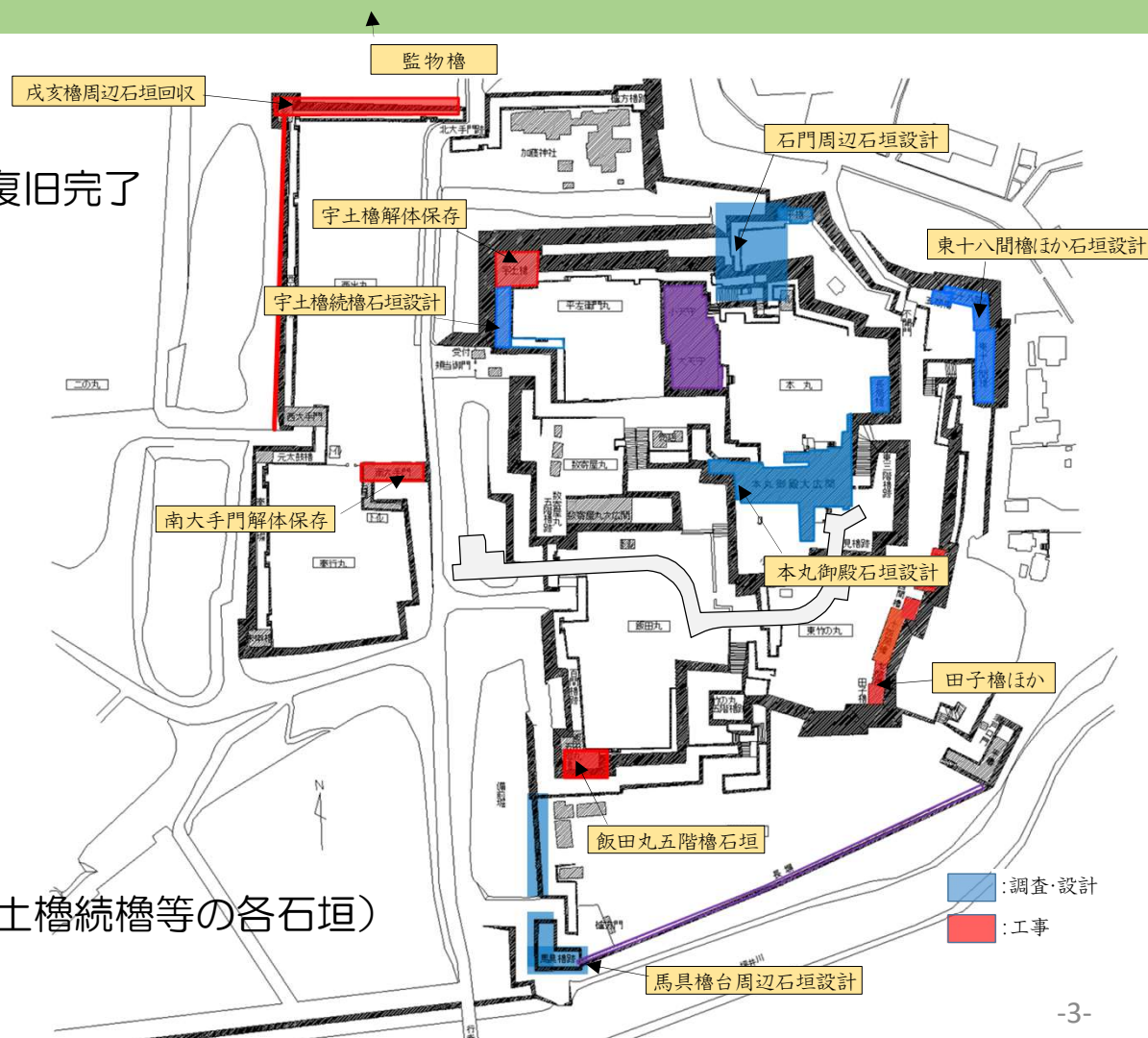
今年度の取り組み

【建造物】

- ・宇土櫓解体保存工事
- ・監物櫓復旧工事
- ・田子櫓ほか南東櫓群復旧工事
- ・南大手門解体保存工事

【石 垣】

- ・飯田丸五階櫓台石垣修理工事
- ・石垣復旧設計
（石門周辺、東十八間櫓、本丸御殿、宇土櫓続櫓等の各石垣）
- ・戌亥櫓周辺の崩落石垣回収工事



熊本城復旧事業 及び 公開状況について

3 熊本城の公開状況

天守閣復旧完了に伴い、特別公開第3弾として熊本城有料エリア内のルートを公開し内外から多くの方々に来園いただいている。

■ 公開ルート：特別見学通路～天守閣（内部公開）～西出丸

※2022年10月から北口は宇土櫓の工事に伴い、日・祝日のみ開門

■ 実施期間：2021（R3）年6月28日～現在

※2021年8月2日～9月30日は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園

■ 入園者数：2021年度：447,851人 ⇒ 2022年度：1,002,978人



4 熊本城復旧への寄付金

◎熊本城災害復旧支援金（平成28年4月21日開始） 約25億2千万円

◎復興城主（平成28年11月1日開始） 約29億7千万円

合 計 約54億9千万円
（令和5年3月31日現在）

